

北海道大学古河講堂改修後の広域複合災害減災産官学 連携拠点整備のためのワークショップ開催

主催：北海道大学広域複合災害研究センター

北海道大学古河講堂(国有有形文化財)は、1909年に林学教室として建設された歴史的建造物です。しかしながら、著しい老朽化と耐震性能の問題により、2019年以降、使用されていません。

北海道大学は今、この歴史的建造物を大学150周年記念事業の一環として改修し、「広域複合災害研究拠点」として再生する計画を進めています。

<https://150th.hokudai.ac.jp/project/furukawa-kodo>

そこで、広域複合災害研究センターを日頃からご支援くださっている関係機関の皆様とともに、古河講堂改修後の災害研究拠点としてどのように利活用していくか、フリートーキングによってアイデアを募るためのワークショップ(対面形式)を以下の次第のとおり開催します。



改修後の全景(北海道大学)



【日時】 2026年7月30日(木)

【ワークショップ進行】

15:00 農学部玄関前に集合

15:05～15:35 古河講堂内見学

16:00～17:20 ワークショップ (北海道大学農学研究院中講堂)

- ・古河講堂改修の経緯(長谷川康弘副学長)
- ・広域複合災害研究センターの活動実績と今後の展望(厚井高志副センター長)
- ・古河講堂改修後の利活用方法についてのフリートーキング

17:30～19:00 意見交換会(場所未定 後日連絡予定)

会費：5000円程度を予定(会場にて徴収)

参加申し込み先

<https://forms.gle/nEEbanFgqH1oZ6d87>